

年頭のごあいさつ

<市長コメント>

明けましておめでとうございます。

令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さまにおかれましては、心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、これまで経験したことのない記録的な猛暑に加え、世界的なエネルギー価格や食料品などの物価高騰が続き、地域経済・市民生活は新たな厳しさに直面しました。

一方でコロナ禍からの社会・経済活動の回復・正常化も進み、各地域における様々な祭り・イベントも大きな盛り上がりを見せたほか、経済対策の一環で実施した「地域商品券」や「食事券」も効果を発現し、年末には飲食店や各販売店なども、かつての賑いを取り戻しているように見受けられ、喜んでいるところであります。

また、石巻港には、MSCベリッシマや日本丸などの大型客船が五隻入港いたしました。官民あげておもてなしを行い、乗

船客の皆様にも、きっと石巻市の素晴らしさが伝わったものと思いますし、今後の新たな交流人口の増加と、地域経済の発展にもつながるものと期待しております。

さて、東日本大震災発生から今年で13年目を迎えます。全国の皆様の御協力のもと、ようやく復旧・復興に係る基盤整備事業、いわゆるハード事業は完結を迎えたところであります。

今後も引き続き、心のケアや地域コミュニティの再生など、いわゆるソフト事業について、市民の皆様と一丸となって、しっかりと取り組んでまいります。

世界的な経済・社会の構造転換が急速に進展する厳しい環境下にあって、人口減少の抑制と稼ぐ力の創出・強化など、いわゆる石巻市の「地方創生・まちづくり」は、まさにこれからが正念場であります。その突破に向けて「オール市民」でこの難局に^{たいじ}対峙し、未来を見据えた新たなステージを共に切り拓いてまいりたいと存じます。

結びに、本年の干支「^{えと}甲^{きのえ・たつ}辰」は、これからの成長を更に形作っていく年といわれております。本年が皆さまにとりまして、希望が形をなし、そして叶う年になりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。